

キタグチ '25 9月 号

Vol.197



8月の集中豪雨により被害を受けられた皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。一日でも早い復旧がなされますよう、社員一同、心よりお祈り申し上げます

当社では水没した車輛の引取りも、可能な限り対応させていただきます。皆様の復旧の力添えとなれば幸いです。

尚、水没車の引取依頼に関しましては、通常の手続きと異なる場合がありますので、事前にご相談くださいますようお願い申し上げます。

残暑厳しき折、皆様方におかれましては熱中症等お身体にはくれぐれもご留意ください。

令和7年9月1日

株式会社キタグチ 社員一同

※水没車対応窓口 緑川工場 車輛管理課 TEL.0964-24-1400

寄付・寄贈 2025

地域の方々への恩返しを目的に始めた図書寄贈。通算19回目の今回より、寄付を更に幅広く有効活用して頂ければと思い、宇土市の企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を利用させて頂きました。



目録を手にする元松宇土市長と感謝状を手にする当社社長の北口

このように毎年寄付・寄贈を行うことができるのも、皆様の日頃よりのご愛顧の賜物と、当社社員一同、心より感謝申し上げます。私たちはこれからも、地方創生の取り組みを応援すると共に、皆様に良質な部品と安心・安全をお届けできるよう、より一層、努力してまいります。

8月9日20時2分、第一子が生まれました！！
予定日は6日でしたが3日遅れで無事に生まれてくれました(T_T)ｶｯﾄ

陣痛中腰をさすっていたのですが、深夜だったということもありちょいちょい寝てしまって、妻に怒られました(笑)。

それにしては新生児は1日1日で顔がどんどん変わっていき、いつ見ても見飽きないですね(^^)

自分は叫んでしまうほどの痛みを経験したことはありませんが、そんな痛みに39時間も耐えて子供を産んでくれた妻には感謝と尊敬しかありません。

これからは父としての責任を胸に、仕事にもこれまでに以上に励んで参ります！！

新米パパ/倉庫担当内古閑勇成

本社：熊本市南区日吉2丁目11-40

TEL.096-357-8400 FAX.096-357-8495

工場：宇土市新開町字東開1895-19

TEL.0964-24-1400 FAX.0964-24-1500

定休日：土曜日・日曜日・祝日

営業時間：午前8時30分～午後5時30分

自動車リサイクル
株式会社 キタグチ

～本社便り～

便り：其/99

『風が運ぶ幸せの音色』

夏休みに佐賀県鹿島市にある祐徳稲荷神社へ立ち寄りしました。伏見稲荷大社、笠間稲荷神社とともに日本三大稲荷の一つに数えられ、年間300万人の参詣者が訪れる、商売繁盛・家運繁栄などで尊崇されている神社です。境内にはコロナ禍をきっかけに始まった夏の風物詩、風鈴がたくさん飾られており、夏の空気をより涼やかにしてくれて、チリンチリンという可愛げな音を奏でる風鈴は見ているだけで心が和みます。この風鈴は『しあわせ風鈴』と呼ばれています。

文・写真/鶴田絢己



私もしあわせ風鈴を奉納しました。短冊には『娘が元気にすくすく育ちますように』

と願いを込めました。

小さな風に揺れる願いごとを眺めながら、改めて日々のありがたさを感じました。

夏の思い出に、心に残るひとときとなりました。



おっさん's
ショートエッセイ

Because it's there.

●●● 山と海にまつわる今と昔のこと ●●●



#006 DANGER

文・写真/黒鶴真哉

山にはいくつも危険が潜んでいる。中でも私が常に注意しているのは生物による攻撃だ。該当するのはマムシ・スズメバチ・マダニ。九州にはクマが居ないがイノシシは多い。それでも滅多に遭遇することはないので、前述の三生物に比べると、ということになる。

では、その三生物について。先ずマダニ。刺した皮膚にそのまま残り吸血し続け、場合によっては感染症を引き起こし、咬まれた人が死亡するケースも。小さいので何処に居るかわからず何とも厄介。対策は皮膚を露出しない服装と虫よけスプレー。私はマダニにも効くと謳っているものを信頼して使用している。

マムシは湿気のある山林や田んぼ・草むらに居て、熱を感知して飛び掛ってくるイメージがある。しかし、ほとんど人に近づくことはなく、こちらからマムシの居そうな場所に接近してマムシを刺激しなければ、被害を受けることはらしい。とは言え、何処に居るかわからない（夏場の藪漕ぎは特に怖い）ので特に足元の装備には気を遣う。靴はハイカットで厚めの靴下にして足首の少し上までガードしている。一度崖の道のど真ん中に居て難儀したことがあるが、向こうから威嚇して来ることはなかった。おとなしいのかも知れないが、噛まれたときの対処を誤ると死に至る。私はボイズンリムーバーという毒を吸い出す器具を携帯し、万が一に備えている。

最後に、スズメバチ。実は最も警戒している生物。山の中で見かけるのはオオスズメバチ。ビックリするくらい大型だ。秋口には自宅の庭にもエサを探しに来る。彼らは先の二生物よりはるかに威嚇的で攻撃的だと感じる。そして素早い。巣に誤って近づいたが最後、威嚇されあっという間に攻撃されてしまう。またその毒性も高く、刺されたらケガではなく重大事故だと思った方がいい。やっかいなのは攻撃対象物のマーキングをさせてしまう事。1匹が対象に毒を吹きかけマーキングする＝マーキングめがけて他の蜂が一同に襲い掛かってくる！という地獄の等式から逃れられなくなってしまうのだ。幸い今まで刺されたことは無いが、しょっちゅう見かける危険生物であるため、常にスズメバチ撃退用の強力なスプレーを携帯している。

可能であるならば、彼らも命あるもの、うまく共存できるのが一番である。あれ？さてよ、彼らにとっての一番のDANGERは・・・

2025年 9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

●…休

2025年 10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

●…休



編集担当/黒鶴真哉